

令和7年度 社会参加活躍支援等孤独・孤立推進交付金 事後評価

1. 事後評価

「こいがた中高年世代活躍応援プロジェクト協議会」(令和8年5月20日開催)において事後評価を実施。

2. 交付金計画期間における事業の達成状況

【若年者等自立支援ネットワーク化推進事業】

○ 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)実績

KPI④	指標名		令和7年度目標値	令和7年度実績値
	県内地域若者サポートステーションの就職者等(職業訓練、企業、自営など含む)		740	670
	目標値と実績に乖離がある理由	・福祉的、経済的、心理的に複雑な問題を抱えた利用者が多いため、支援に時間を要し、直ちに就業には結び付かなかった。		
KPI⑤	指標名		令和7年度目標値	令和7年度実績値
	県内地域若者サポートステーションの新規登録者数		958	865
	目標値と実績に乖離がある理由	・令和2年度から新規登録者の掘り起こしのため、事業周知や各支援機関とのネットワーク形成に取り組んでおり、その掘り起こしが進んだものと考えられる。		
KPI⑥	指標名		令和7年度目標値	令和7年度実績値
	県内地域若者サポートステーションにおける心理カウンセリング実施実人数		247	421
	目標値と実績に乖離がある理由	・年々、複雑な問題を抱えた利用者が増加しており、それに伴い心理カウンセリングを必要とする者が増えているためと考えられる。		

○ 事業の実施状況及びその成果

- ・支援機関向け研修会、連絡会の開催
- ・企業との連携を目的とした企業見学会や企業説明会の開催 4回 参加企業72社 参加者計 240名 新規企業開拓数58社
- ・支援者向けサポステ見学会の開催3回 参加者64名
- ・事業周知(チラシ配布、地元紙、地元ケーブルテレビ、Youtubeを活用した広告) 等

【若年者等無業者職場実習受入促進・支援事業】

○ 交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)実績

KPI①	指標名		令和7年度目標値	令和7年度実績値
	職場実習利用者の就職人数		199	246
	目標値と実績に乖離がある理由	・実習を継続することにより、業務に慣れ、自信がついた実習者が増えている。 ・サポステ実習において、これまでの企業開拓、関係性維持活動により実習や受入に対し協力的な企業が多くなっている。そのような企業で好意的な指導やサポートを受けられたことが実習後の応募・採用にも繋がっていると思料される。		
KPI②	指標名		令和7年度目標値	令和7年度実績値
	職場実習延べ利用者数		666	966
	目標値と実績に乖離がある理由	・ナカボツ実習において、R8年度の法定雇用率の引き上げを見込んで、実習の受入が促進されたものと思料される。		

○ 事業の実施状況及びその成果

- ・県内5か所の地域若者サポートステーションにおいて、職場実習を241人延べ982日実施し、61人の就業につながった
- ・県内7か所の障害者就業・生活支援センターにおいて、職場実習を実人数272人、延べ2,688日実施し、185人の就業につながった

3. 事後評価における主な意見

- ・特になし